

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-255028

(P2004-255028A)

(43) 公開日 平成16年9月16日(2004.9.16)

(51) Int.Cl.⁷

A47K 1/00
E03C 1/042
E03C 1/14

F I

A47K 1/00
 A47K 1/00
 A47K 1/00
 E03C 1/042
 E03C 1/14

テーマコード (参考)

2D060
 2D061

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2003-51087 (P2003-51087)

(22) 出願日 平成15年2月27日 (2003.2.27)

(71) 出願人 000010087

東陶機器株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

(72) 発明者 本山 英俊

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

Fターム(参考) 2D060 BA03 BE09

2D061 BA01 BF01

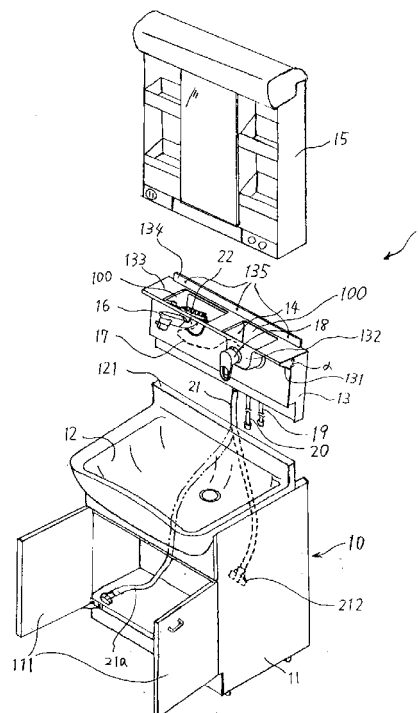
(54) 【発明の名称】 洗面化粧台

(57) 【要約】

【課題】洗面化粧台に水受けトレイを設置した場合であっても、収納スペースの邪魔にならず、かつ水受けトレイに溜まった水の排水も容易であり、また、シャワーホース長さを余分に取りすぎないため、材料コストも安価であり、特別に寒冷地専用品を揃える必要がないため製品管理コストも安価にすることができる洗面化粧台を提供する。

【解決手段】洗面ボウルの上方に設置されたパネルにおいて、シャワーホースを介して接続された吐水具を自在に引き出せる水栓本体が該パネルに取付けられ、該パネルの裏面側に該水栓本体から連通された該シャワーホースを収容し、該シャワーホースから伝わる水を受ける略四角柱状で上面が開放された水受けトレイを該パネルの裏面内に該パネルと一体的に設けたことを特徴とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

洗面ボウルの上方に設置されたパネルにおいて、シャワーホースを介して接続された吐水具を自在に引き出せる水栓本体が該パネルに取付けられ、該パネルの裏面側に該水栓本体から連通された該シャワーホースを収容し、該シャワーホースから伝わる水を受ける略四角柱状で上面が開放された水受けトレイを該パネルの裏面内に該パネルと一体的に設けたことを特徴とする洗面化粧台。

【請求項 2】

請求項 1 において、該シャワーホースを挿通して外周を自由に動くことが可能な環状の係止具と接続された弾性体が、前記水受けトレイ内の下面部に接続されてなる、該シャワーホースの該水受けトレイ内への収納を補助するシャワーホース収容補助装置を、該水受けトレイ内に備えていることを特徴とする洗面化粧台。

10

【請求項 3】

請求項 1、請求項 2 に記載の水受けトレイに溜まった水を排水する為の水抜き口が該水受けトレイ下面部に設けられ、かつ、開閉装置を一端に備えた排水ホースが該水抜き口に接続されていることを特徴とする洗面化粧台。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、シャワーホース用の水栓と該シャワーホースから伝わる水を受ける水受けトレイを有する洗面化粧台に関するものである。

20

【0002】**【従来の技術】**

従来のこの種のものとしては、洗面ボウルの奥側に水栓取付用ホルダーを設置し、この水栓取付用ホルダーの前面に洗髪用水栓を取付けるようにしたものが公知である（例えば、特許文献 1 参照のこと。）。

【0003】

この場合、使用者が洗髪行為などを行った際に、引き出したホースに飛び散った水が付着する為、この吐水ヘッドに繋がるホースを伝って落ちる水を受ける水受けが必要となる。例えば、シャワーホース用水栓が取付けられたホルダーに水受けトレイを一体化しているものも開示されている（特許文献 2 参照のこと）。このホルダーを洗面台上への設置時に、洗面台に設けた開口に水受けトレイ部を差込んで取付けている。また、水受けトレイを化粧台内へ取付けているものもある。

30

【0004】

上記のような形態の引出し可能なシャワーホース用水栓の取付け座面は、図 10 に示すように、水平面、若しくは後方上方傾斜面のような所謂上向き面に取付けられている。引き出されたシャワーホース 92 を取付け座面内へ収納する時は、水栓取付面下にあるシャワーホース 92 の自重で引き出された分のシャワーホース 92 が戻るものである。その為に十分な余長をとり、シャワーホース 92 をすべて引き出した場合でも自重で戻らなくなることがないように、ストッパー 91 等の別部品を設けてシャワーホース 92 の引出し代を制限し、水栓取付面下に余長分のシャワーホース 92 が垂れ下がっている。従って、引出し代以上のシャワーホース長さを設定する必要がある。

40

【0005】**【特許文献 1】**

実公平 3 - 37481 号公報

【特許文献 2】

特開平 9 - 250153 号公報

【0006】**【発明が解決しようとする課題】**

しかし、上記従来例では、水栓取付面下に垂れ下がっているシャワーホースを収納する水

50

受けトレイが洗面台内奥のスペースを占領して、化粧台としての収納スペースを制限してしまう。そして水受けトレイに溜まった水を排水する場合は、洗面台内奥で排水作業をすることになり非常に面倒で作業しづらい。さらに、上記理由によりシャワーホース長さが必要以上の長さで設定されて余分な材料コストを強いられている欠点もある。さらに寒冷地で使用する場合は、シャワーホースをすべて引き出した場合でも水栓取付面下に残っている余長分がU字形状を形成し、この部分に溜まった水を抜く為の水抜き栓が必要になり、一般地品とは別に寒冷地専用品を設定する必要がある。

本発明は、上記の問題に鑑みてなされたものであり、洗面化粧台に水受けトレイを設置した場合であっても、収納スペースの邪魔にならず、かつ水受けトレイに溜まった水の排水も容易であり、また、シャワーホース長さを余分に取り必要がないため、材料コストも安価であり、特別に寒冷地専用品を揃える必要がないため製品管理コストも安価にすることができる洗面化粧台を提供することを目的とする。

10

【0007】

【課題を解決するための手段】

第1の発明では、洗面ボウルの上方に設置されたパネルにおいて、シャワーホースを介して接続された吐水具を自在に引き出せる水栓本体が該パネルに取付けられ、該パネルの裏面側に該水栓本体から連通された該シャワーホースを収容し、該シャワーホースから伝わる水を受ける略四角柱状で上面が開放された水受けトレイを該パネルの裏面内に該パネルと一体的に設けたことを特徴とする洗面化粧台を提供する。

【0008】

20

本発明によれば、水受けトレイをパネル裏面内に設置して、洗面台内へは該水受けトレイと接続された排水ホースが垂れ下がってくるだけである為、洗面台内は十分な収納スペースを確保できる。また、水受けトレイは水栓が装着されたパネルと一体となっているため、洗面化粧台の施工時に別途水受けトレイを設置する手間が省け、容易に施工を実施できる。

【0009】

第2の発明では、請求項1において、該シャワーホースを挿通して外周を自由に動くことが可能な環状の係止具と接続された弾性体が、前記水受けトレイ内の下面部と接続されてなる、該シャワーホースの該水受けトレイ内への収納を補助するシャワーホース収容補助装置を、該水受けトレイ内に備えていることを特徴とする洗面化粧台を提供する。

30

【0010】

本発明によれば、シャワーホースにストッパー等の別部品を設けてシャワーホースの引出し代を制限することなく、シャワーホースをすべて引き出した場合でも再び容易に水受けトレイにシャワーホースを収容できる。さらに引き出し自在なシャワーホース用水栓がパネルに設置され、シャワーホースの収納経路が湾曲した場合でも容易に水受けトレイ内に収納することができる。また、全てシャワーホースを引き出した場合でも水栓取付面下方にできるU字形状をした余長分を無くすることが出来る為、シャワーホースの材料費を安価にすることができ、かる、寒冷地で使用する場合でもこの部分の水抜き栓設置が不要になる。従って、特別に寒冷地専用品を揃える必要がないため製品管理コストも安価にすることができる。

40

【0011】

第3の発明では、請求項1、請求項2に記載の水受けトレイに溜まった水を排水する為の水抜き口が該水受けトレイ下面部に設けられ、かつ、開閉装置を一端に備えた排水ホースが該水抜き口に接続されていることを特徴とする洗面化粧台を提供する。

【0012】

本発明によれば、水受けトレイをパネル内でコンパクトに設定でき、洗面台内の収納スペースを狭めることなく水受けトレイに溜まった水を排水することができる。また排水ホースの長さが自由に設定できる為、洗面台の前面の開閉扉付近まで届く程の排水ホース長さを設定すると、排水ホース先端にある開閉装置を取扱う排水作業も容易に行うことができる。

50

【 0 0 1 3 】

【 発明の実施の形態 】

以下に図面を参照して本発明をより具体的に説明する。

図 1 は一実施の形態である洗面化粧台の分解斜視図、図 2 は図 1 で示される洗面化粧台の正面図、図 3 は図 1 で示される洗面化粧台のパネルの裏面図、図 4 は図 3 において、シャワーホースが最大限に引き出された場合のパネル裏面図、図 5 は図 2 で示されるパネルの支持管部の断面図、図 6 は図 2 において、シャワーホースが最大限に引き出された場合の断面図、図 7 は図 2 で示されるパネルの混合水栓部の断面図、図 8 は図 1 で示される洗面化粧台の正面図、図 9 は図 1 で示される洗面化粧台の洗面ボウルとパネルとミラーキャビネットの一部の側面図、図 10 は従来技術の一実施の形態であるパネル正面図を示している。 10

【 0 0 1 4 】

洗面化粧台 1 はキャビネット 11 上に洗面ボウル 12 が取付けられた洗面台 10 と、洗面ボウル 12 のバックガード 121 の奥側に立設させたパネル 13 と、パネル 13 の裏面に、これと一体となるように取付けられている水受けトレイ 14 と、パネル 13 の上側に取付けられるミラーキャビネット 15 と、パネル 13 に取付けられた支持管 22 と該支持管 22 に着脱可能に構成された吐水具 16 と、該吐水具 16 と混合水栓 18 を繋ぐシャワーホース 17 等から構成されている。

【 0 0 1 5 】

洗面ボウル 12 は後部に上方へ突出するバックガード 121 が形成されており、キャビネット 11 上面に設置された時にバックガード 121 裏面とキャビネット 11 後面とに隙間 C が設けられている。この隙間 C は、パネル 13 に取付けられる混合水栓 18 に接続する給水管 19、給湯管 20 及びパネル 13 に取付けられる水受けトレイ 14 に溜まった水を排水する排水ホース 21 が通るための隙間 C である。図 9 に示すようにこの隙間 C を大きくすると洗面ボウル 12 の奥行きが狭くなることになるので、上記管類が挿通できる必要最小限の隙間 C とするのが望ましい。本発明では、この隙間 C を 40 mm 程度とした。 20

【 0 0 1 6 】

パネル 13 は、後方下方に傾斜する傾斜角 θ を有しており、この傾斜面 131 に設けた開口にシャワーホース 17 の吐水端に接続した吐水具 16 を支持する支持管 22 が取付けられている。図 7 に示すように支持管 22 の側方の鉛直面 132 に設けた開口には混合水栓 18 が取付けられている。もちろん支持管 22 も傾斜面のみならず鉛直面に取付けても良い。本発明では、この傾斜角 θ を 30° とし、吐水具 16 は吐水方向が洗面ボウル 12 内を向くように支持管 22 に設置されている。同時に図 2 に示すように、支持管 22 はパネル 13 に対して回転可能に保持されており、支持管 22 を回転させることにより吐水位置の高さが可変となる。 30

【 0 0 1 7 】

このパネル 13 は、図 1 で示されるように、左右の長手方向サイズがキャビネット 11 と同一サイズに形成され、前後の幅方向サイズが洗面ボウル 12 のバックガード 121 前方からキャビネット 11 の後端までの箱状のものであり、前部側下部には、洗面ボウル 12 のバックガード 121 に嵌め込まれる凹部が形成されている。パネル 13 の上面部 133 には、支持管 22 と混合水栓 18 の組付け用、及びメンテナンス用として開口部 100 を設けており、上面部 133 の後部に上方へ突出するバックガード 134 が形成され、壁面に固定する為のビス穴 135 が設けられている。 40

【 0 0 1 8 】

図 3 に示すように、水受けトレイ 14 は、シャワーホース 17 を収容し、使用者の洗髪行為や掃除などでシャワーホース 17 の外周に付いて伝わってくる垂れ水を集めるものである。この水受けトレイ 14 は略四角柱状で上面は開放されており、シャワーホース 17 が建築物の壁面に接触して濡らすことがないようにガード部 145 を設けている。下面部には排水用の開口部 141 とシャワーホース 17 を収容するためのシャワーホース収容補助装置 142 が設けてある。排水用の開口部 141 は排水ホース 21 と容易に接続できるよ 50

うに竹の子形状をした筒状としている。ここでいう竹の子形状とは、下方に向けて拡径した段差部を複数備えた構造をいう。これに排水ホース 2 1 の一端をホースクリップ 2 1 1 で接続し、他端には水抜き栓 2 1 2 が螺着されている。使用者が排水ホース 2 1 先端に接続された水抜き栓 2 1 2 を操作できるように、洗面ボウル 1 2 のバックガード 1 2 1 裏面とキャビネット 1 1 後面との隙間を通して洗面台内まで垂れ下がっている。水抜き栓 2 1 2 は、排水ホース 2 1 内の水を排水できる構造のものであれば良く、キャップ形状のものや内部にボールバルブを備えた物等が考えられる。本実施例では、比較的安価なキャップ形状のものを採用している。

【0019】

一般的に洗面台の中には、洗剤類、タオル類、バケツなど雑多な品物が置かれており、洗面台奥側に設置された水受けトレイ 1 4 の水を抜く作業は困難で、荷物を外に出してから作業をしなくてはならず大変手間である。従って、排水ホース 2 1 の長さは図 1 に示すように排水ホース 2 1 a の水抜き栓 2 1 2 を洗面台の開閉扉 1 1 1 付近まで届く長さに設定すると、荷物を外に出す手間もなく排水作業が手元でできるので便利である。もちろん、使用者が水が溜まっているかどうか判別できるように排水ホース 2 1、2 1 a は透明度が高いものが好ましい。この水抜き栓 2 1 2 を開にすると水受けトレイ 1 4 に溜まった水が排水できる。

【0020】

また、図 3 に示すように排水がスムーズに行えるように水受けトレイ 1 4 の下面 1 4 3 は排水用の開口部 1 4 1 に向かった傾斜面とし、洗面台内まで突出してこないように水受けトレイ 1 4 の下面 1 4 3 をパネル 1 3 下端程度までに抑えているので、洗面台内の収納スペースを広く使用することができる。

【0021】

一方、シャワーホース収容補助装置 1 4 2 は、ばねや空気圧シリンダー等の弾性体を使用するが、ここでは引きばね 1 4 4 を使用している。その場合は、引きばね 1 4 4 の係止部を設ける必要があるが、水受けトレイは一般に樹脂で成形され、係止部を箱型形状内に一体で成形することは困難な場合が多いことから、本発明では、引きばね 1 4 4 の係止部を設けた別部品 2 3 を水受けトレイ 1 4 内に装着し、これを引きばね 1 4 4 の係止部とした。図 3 の拡大部はその一例である。フック部を設けた別部品 2 3 に引きばね 1 4 4 を装着し、水受けトレイ 1 4 の下面外側から挿入してねじ 2 5 などで装着する。別部品 2 3 の挿入部位は引きばね外径よりも大きく、水受けトレイ 1 4 の開口部をシールする為のパッキン 2 4 が装着されている。

【0022】

このように箱型形状をした水受けトレイ 1 4 内にシャワーホース収容補助装置 1 4 2 を設置する場合は、箱型の上方開放面からの部品装着は作業難になる為、上述のように引きばね 1 4 4 が装着された別部品 2 3 を、水受けトレイ 1 4 の外側方向から装着した方が作業楽になり好ましい。この引きばね 1 4 4 の他端側は、シャワーホース 1 7 を挿通して外周を自由に動かことができる環状のホースガイド 2 6 を介してシャワーホース 1 7 と接続されている。

【0023】

水受けトレイ 1 4 は、支持管 2 2 から混合水栓 1 8 に繋がるシャワーホース 1 7 を収容でき、かつ引きばね 1 4 4 がシャワーホース 1 7 を収容するのに最適な引力が働く位置にできるようにパネル 1 3 裏面に取付ける必要がある。

【0024】

例えば、図 5 のようにパネル 1 3 傾斜面に支持管 2 2 を取付けた場合には、シャワーホース 1 7 の摺動経路が湾曲状となり、吐水具 1 6 を引き出した時のシャワーホース 1 7 の出し入れ性（摺動性）が悪化する。従って、特に湾曲している支持管 2 2 の出口には、R 形状をしたカバー 2 7 を装着してシャワーホース 1 7 が滑らかに摺動するようにしている。

【0025】

同時に図 3 に示すように、シャワーホース収容補助装置 1 4 2 位置を支持管 2 2 取付け中

心位置より混合水栓 18 とは逆方向に t だけずらした位置にくるように水受けトレイ 14 をパネル 13 に取付けると、シャワーホース 17 はスムーズに水受けトレイ 14 に収納できる。即ち、上記補助装置 142 によるシャワーホース 17 を引込む方向がポイントとなる。これは図 6 に示すようにシャワーホース 17 の引出し代 S 、シャワーホース収容補助装置 142 位置からの高さ h にもよるが、例えば S が 400 mm、 h が 200 mm 程度の場合、 t を 150 mm 程度とすると良い。もちろんこの取合い寸法の条件のもとで、引きばね 144 の自然長、ばね定数を変化させるとシャワーホース 17 の引出し性、収納性が変わるものである。

【0026】

パネル 13 への水受けトレイ 14 の取付けは、ねじなどでの固定若しくは接着剤による固定により行われ、パネル 13 の裏面内に一体的に取り付けられる。シャワーホース収容補助装置 142 のメンテなどのため、ねじなどによる固定が適している。ねじなどでの固定では、一般にパネルは樹脂で成形される為に、裏面にはねじ止め用のボスがたてられる。この場合はボス部が厚肉になる為にパネル表面にヒケの発生が懸念される。しかし、図 3 のように、パネル 13 裏面に洗面ボウル 12 のバックガード 121 に嵌め込まれる凹部より下方位置にボス 133a を設け、この位置にねじで水受けトレイ 14 を固定するようにすれば、仮にヒケが発生した場合でもバックガード 121 で隠れて見えなくなり外観を損ねることがない。

【0027】

このように水受けトレイ 14 内にシャワーホース収容補助装置 142 を設けることによってシャワーホース 17 先端に接続した吐水具 16 を、図 4 に示すように最大限に引き出した場合でも、パネル 13 裏面側に従来の U 字形状をしたシャワーホース 17 の余長分を設けることなく、スムーズに吐水具 16 を支持管 22 に戻すことができる。同時にこれはシャワーホース 17 余長分のコスト削減、及び寒冷地使用の場合は U 時形状内の水を抜く為の水抜き栓が不要になり品番削減、コスト削減にもなる。

【0028】

また、図 10 に示すように、従来技術ではシャワーホースの引出し代を制限する為のストッパー 91 をシャワーホース 92 に設置していたがこれも不要となる。しかしながら、力まかせにシャワーホース 17 を最大限に引き出された場合には、ストッパー 91 が無い為にシャワーホース 17 と混合水栓 18 本体の接続部に負荷がかかり水漏れ等が懸念され好ましくない。図 4 に示すように、これは結束バンド 28 等でシャワーホース 17 とパネル 13 上面を固定することによって接続部の負荷が軽減され解決できる。

【0029】

一方でストッパーが無い分、このシャワーホース収容補助装置 142 を利用すれば、ばね力により引出し長さに比例して引出し操作力が大きくなっていくので、引き出し代の制限長さに近づいていることを感覚的に知らせる効果もある。本発明では、最大限にシャワーホース 17 を引き出した時のばね力を 15 N 程度としている。

【0030】

このように構成された洗面化粧台においては、混合水栓 18 のレバーハンドルを操作することにより、吐水具 16 から吐水、止水することができる。そして洗髪行為や洗面ボウル内の清掃時には吐水具 16 を掴んで支持管 22 から引き出して使用でき、吐水具 16 を支持管 22 に装着した状態でも吐水することができる。また、手洗い行為や洗面行為のような通常使用のときは、支持管 22 を回転収納した状態でも使用できる。使用中にシャワーホース 17 に付着した水は、支持管 22 の下部に設けた排水用穴 220 から洗面ボウル 12 内に垂れるか、或いは水受けトレイ 14 に導入されて溜まっていく。図 1 に示すように、この溜り水は水受けトレイ 14 の排水口を通り排水ホース 21 に溜まっていくものである。

【0031】

最後に、この洗面化粧台の据付け手順について図 8 で簡単に説明する。まず、水受けトレイ 14 と一体的に形成されているパネル 13 に混合水栓 18 と支持管 22 を取付けるとと

10

20

30

40

50

もに、この混合水栓 18 の本体部に水配管 19 と湯配管 20 とを取付ける。続いてシャワーホース 17 の一端側を混合水栓 18 の本体部に接続し、他端側を支持管 22 に連通させて吐水具 16 と接続する。引きばね 144 は一端をシャワーホース 17 に挿通されたホースガイド 26 と接続され、他端はパネル 14 裏面内に設置された水受けトレイ 14 内の下面に設けた係止部に接続する。

【0032】

以上の組み上げ品をパネルユニットとして、洗面台 10 の取付面上に取付ける。この場合、洗面ボウル 12 のバックガードにパネル 13 の凹部を嵌め込みパネル 13 を壁面にビスで固定する。またミラーキャビネット 15 がある場合はこのパネル上にミラーキャビネットを設置して壁にビスで固定すれば良い。続いて、水配管 19、湯配管 20 の下端側を、建物側に設置した止水栓 81、82 にそれぞれ接続する。そして、洗面ボウル 12 に接続された排水トラップ 83 を建物の排水配管に接続すれば、この洗面化粧台の据付け作業は終了する。

10

【0033】

【発明の効果】

第 1 の発明では、洗面ボウル 12 の上方に設置されたパネルにおいて、シャワーホースを介して接続された吐水具を自在に引き出せる水栓本体が該パネルに取付けられ、該パネルの裏面側に該水栓本体から連通された該シャワーホースを収容し、該シャワーホースから伝わる水を受ける略四角柱状で上面が開放された水受けトレイを該パネルの裏面内に該パネルと一体的に設けたことを特徴とする洗面化粧台を提供する。

20

本発明によれば、水受けトレイをパネル裏面内に設置して、洗面台内へは該水受けトレイと接続された排水ホースが垂れ下がってくるだけである為、洗面台内は十分な収納スペースを確保できる。また、水受けトレイは水栓が装着されたパネルと一体となっているため、洗面化粧台の施工時に別途水受けトレイを設置する手間が省け、容易に施工を実施できる。

第 2 の発明では、請求項 1 において、該シャワーホースを挿通して外周を自由に動くことが可能な環状の係止具と接続された弾性体が、前記水受けトレイ内の下面部と接続されてなる、該シャワーホースの該水受けトレイ内への収納を補助するシャワーホース収容補助装置を、該水受けトレイ内に備えていることを特徴とする洗面化粧台を提供する。

本発明によれば、シャワーホースにストッパー等の別部品を設けてシャワーホースの引出し代を制限することなく、シャワーホースをすべて引き出した場合でも再び容易に水受けトレイにシャワーホースを収容できる。さらに引き出し自在なシャワーホース用水栓がパネルに設置され、シャワーホースの収納経路が湾曲した場合でも容易に水受けトレイ内に収納することができる。また、全てシャワーホースを引き出した場合でも水栓取付面下方にできる U 字形状をした余長分を無くすることが出来る為、シャワーホースの材料費を安価にすることができ、かつ、寒冷地で使用する場合でもこの部分の水抜き栓設置が不要になる。従って、特別に寒冷地専用品を揃える必要がないため製品管理コストも安価にすることができる。

30

第 3 の発明では、請求項 1、請求項 2 に記載の水受けトレイに溜まった水を排水する為の水抜き口が該水受けトレイ下面部に設けられ、かつ、開閉装置を一端に備えた排水ホースが該水抜き口に接続されていることを特徴とする洗面化粧台を提供する。

40

本発明によれば、水受けトレイをパネル内でコンパクトに設定でき、洗面台内の収納スペースを狭めることなく水受けトレイに溜まった水を排水することができる。また排水ホースの長さが自由に設定できる為、洗面台の前面の開閉扉付近まで届く程の排水ホース長さを設定すると、排水ホース先端にある開閉装置を取扱う排水作業も容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本件発明の一実施の形態である洗面化粧台の洗面台とパネルとミラーキャビネットの分解斜視図である。

【図 2】 図 1 で示される洗面化粧台のパネルの正面図である。

50

【図 3】図 1 で示される洗面化粧台のパネルの裏面図である。

【図 4】図 3 において、シャワーホースが最大限に引き出された場合のパネル裏面図である。

【図 5】図 2 で示されるパネルの支持管部の断面図である。

【図 6】図 2 において、シャワーホースが最大限に引き出された場合の断面図である。

【図 7】図 2 で示されるパネルの混合水栓部の断面図である。

【図 8】図 1 で示される洗面化粧台の正面図である。

【図 9】図 1 で示される洗面化粧台の洗面ボウルとパネルとミラーキャビネットの一部の側面図である。

【図 10】従来技術の一実施の形態であるパネル正面図を示す。

10

【符号の説明】

1 : 洗面化粧台

10 : 洗面台

11 : キャビネット

12 : 洗面ボウル

13 : パネル

14 : 水受けトレイ

15 : ミラーキャビネット

16 : 吐水具

17 : シャワーホース

18 : 混合水栓

19 : 給水管

20 : 給湯管

21 : 排水ホース

21a : 排水ホース

22 : 支持管

23 : 別部品

24 : パッキン

25 : ねじ

26 : ホースガイド

27 : カバー

28 : 結束バンド

81 : 止水栓

82 : 止水栓

83 : 排水トラップ

91 : ストッパー

92 : シャワーホース

100 : 開口部

111 : 開閉扉

121 : バックガード

132 : 鉛直面

133 : 上面部

133a : ボス

134 : バックガード

135 : ビス穴

141 : 開口部

142 : シャワーホース収容補助装置

143 : トレイの下面

144 : 引きばね

211 : ホースクリップ

20

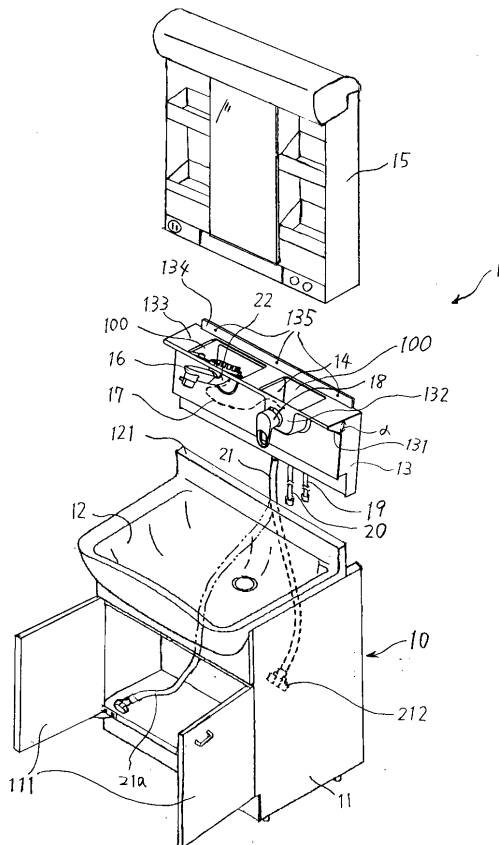
30

40

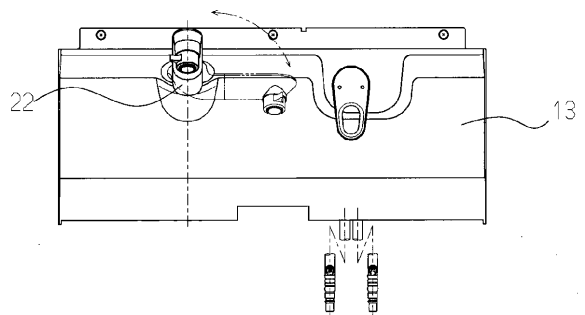
50

2 1 2 : 水抜き栓
2 2 0 : 排水用穴

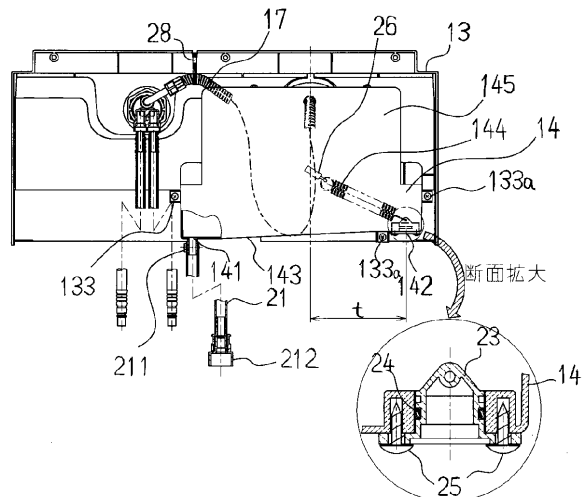
【 図 1 】



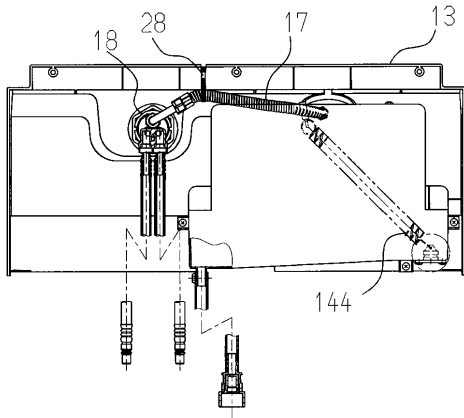
【 図 2 】



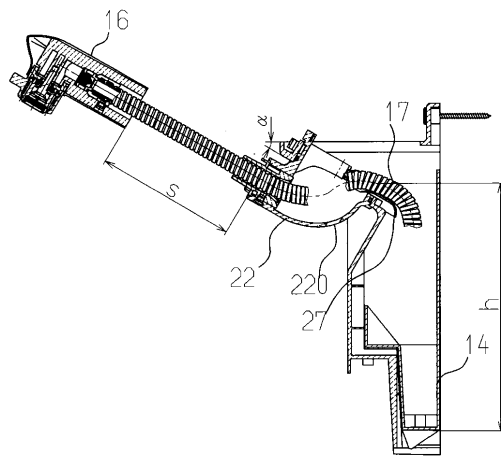
【 図 3 】



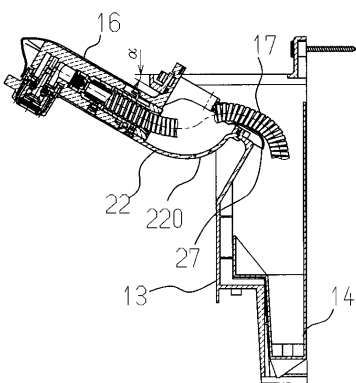
【図 4】



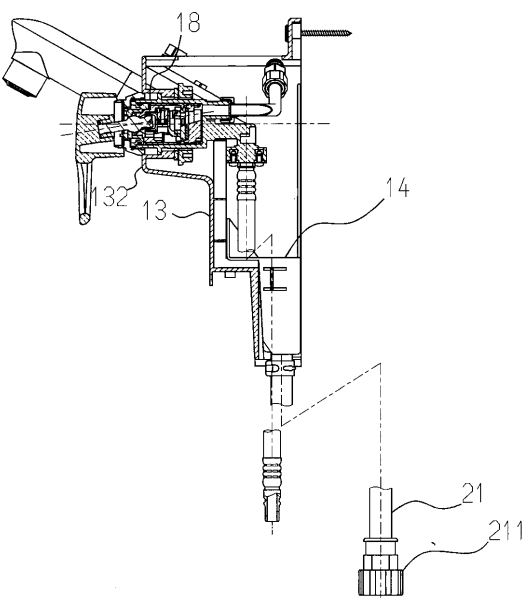
【図 6】



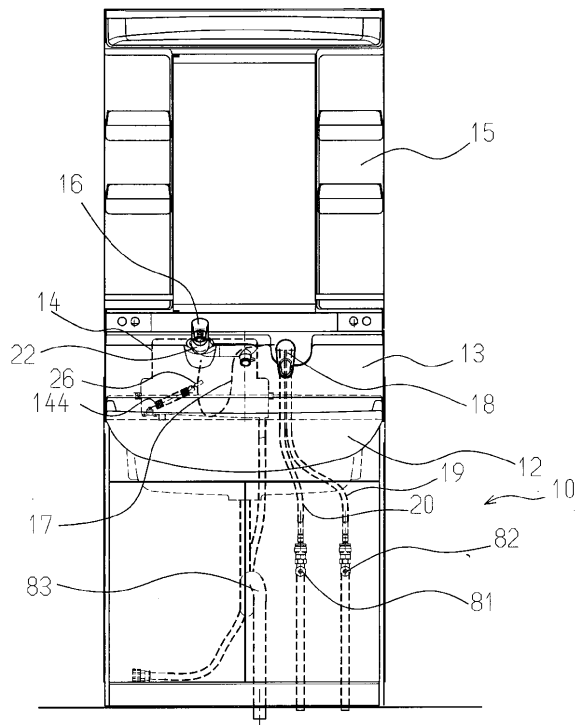
【図 5】



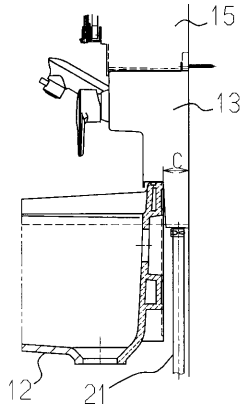
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

